



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 近藤 康彦

TEL 03-5977-5002

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	72,044	1.3	9,513	18.9	9,951	14.0	8,025	47.5
2023年3月期	72,984	4.0	7,998	53.1	8,727	50.3	5,440	43.0

(注) 包括利益 2024年3月期 11,684百万円 (113.4%) 2023年3月期 5,475百万円 (42.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	212.67		5.7	5.9	13.2
2023年3月期	144.80		4.0	5.3	11.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	171,623	143,755	83.8	3,796.05
2023年3月期	166,328	136,836	81.9	3,636.17

(参考) 自己資本 2024年3月期 143,755百万円 2023年3月期 136,258百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,577	5,854	5,658	65,325
2023年3月期	9,253	2,627	6,990	74,260

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		75.00		75.00	150.00	5,625	103.6	4.1
2024年3月期		75.00		75.00	150.00	5,684	70.5	4.0
2025年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00		101.4	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,100	4.2	7,400	22.2	7,800	21.6	5,600	30.2	147.88

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	45,939,730 株	2023年3月期	45,939,730 株
期末自己株式数	2024年3月期	8,070,003 株	2023年3月期	8,466,780 株
期中平均株式数	2024年3月期	37,737,574 株	2023年3月期	37,571,209 株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2024年3月期 28,200株、2023年3月期 33,400株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期 29,898株、2023年3月期 35,021株)。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(役員の異動)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

国内医薬品事業におきましては、高齢化社会の進行等によって国の医療財政が逼迫する中、薬価制度の抜本改革をはじめとする様々な医療費抑制策が進められており、中間年薬価改定の実施等、当連結会計年度においても引き続き厳しい事業環境にあります。

このような環境の中、当社グループは昨年度、2022年を起点とする10か年の経営計画「長期経営計画2031」を策定し、製薬業界を取り巻く厳しい状況や、それに伴う当社グループの長期的課題を分析し、2031年ビジョンとして「画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業」「皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業」を掲げました。また、当社グループは、ビジョン実現のための戦略として「研究開発」「海外展開」「経営基盤」の3つのTransformationを策定し、研究開発への積極的な戦略投資、高い有効性と安全性を有し世界に通用する医薬品を効率良く創出・販売できる体制の構築、挑戦と変革を追求し続ける人材の育成等を進め、経営計画達成に向けて取り組んでおります。

当連結会計年度の売上高は72,044百万円(対前年同期比1.3%減)であり、減収となりました。利益面では、主に販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は9,513百万円(対前年同期比18.9%増)、経常利益は9,951百万円(対前年同期比14.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は8,025百万円(対前年同期比47.5%増)となりました。販売費及び一般管理費が減少した主たる要因は、2つの開発品の導入費用が発生した前期との比較で研究開発費が減少したためであります。研究開発費は、対前年同期比20.6%減少し、12,543百万円となりました。

当連結会計年度におきましては、2023年6月に原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」の新容器として直接腋窩に薬剤を塗布できるツイストボトルを発売したほか、2023年8月に壊死組織除去剤「ネキソブリッド」を発売しました。「ネキソブリッド」は「深達性Ⅱ度又はⅢ度熱傷における壊死組織の除去」を効能・効果とする外用剤として新たな治療の選択肢を提供するものであり、患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献するため、熱傷専門医を中心に情報提供活動を進めております。また、2023年9月には韓国において、原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」の販売承認申請が、提携先であるドンファ社(Dong Wha Pharma Co., Ltd.)により提出されました。当社はドンファ社に対して、韓国における本剤の独占的な開発及び販売の権利を供与しております。2024年3月には、エーザイ(株)が製造販売するめまい・平衡障害治療剤「メリスロン」及び筋緊張改善剤「ミオナール」について日本国内の製造販売承認を承継する契約を締結しました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、関節機能改善剤「アルツ」や原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」等の売上が増加した一方、競合品や薬価改定の影響等を受け、爪白癬治療剤「クレナフィン」や癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」等の売上が減少したことにより、減収となりました。

農業薬品につきましては、主力品である微生物由来の天然物質農薬「ポリオキシシン」の売上が北米で好調なこと等により増加したものの、その他製品の売上が減少したことにより、前年並みとなりました。

この結果、売上高は69,613百万円(対前年同期比1.3%減)、セグメント利益(営業利益)は8,140百万円(対前年同期比21.4%増)となりました。

なお、海外売上高は6,474百万円(対前年同期比10.5%減)となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は2,430百万円(対前年同期比0.4%増)、セグメント利益(営業利益)は1,373百万円(対前年同期比6.4%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は171,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,294百万円の増加となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

負債は27,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,623百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものであります。

また、純資産は143,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,918百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8,935百万円減少の65,325百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,577百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,854百万円となりました。これは主に、長期前払費用の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5,658百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	81.4	83.4	83.4	81.9	83.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	124.0	101.7	89.1	83.2	76.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	14.0	26.8	28.9	41.6	149.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,566.6	836.98	779.5	540.2	148.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（４）今後の見通し

次期の業績につきましては、売上高は、薬価改定の影響はあるものの、「アルツ」、「エクロック」等が伸長することから、全体としては増収を見込んでおります。利益につきましては、戦略投資の結果、研究開発費が増加することなどから、減益となる予定であります。売上高は75,100百万円、営業利益は7,400百万円、経常利益は7,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,600百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外に連結子会社を持たない現状を踏まえ、日本基準を適用しております。

日本の会計基準は、これまでのコンバージェンスの結果、高品質かつ国際的に遜色のないものとなっていると認識しておりますが、引き続き、金融庁企業会計審議会での議論等を注視しつつ、会計基準の適切な選択につとめてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,561	50,625
受取手形、売掛金及び契約資産	19,268	23,744
有価証券	14,699	14,699
商品及び製品	6,734	8,062
仕掛品	2,481	2,786
原材料及び貯蔵品	6,348	6,319
その他	809	736
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	109,903	106,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,066	43,180
減価償却累計額	△26,633	△27,445
建物及び構築物（純額）	16,433	15,734
機械装置及び運搬具	16,612	17,075
減価償却累計額	△13,880	△14,302
機械装置及び運搬具（純額）	2,732	2,772
工具、器具及び備品	8,463	8,483
減価償却累計額	△6,676	△6,836
工具、器具及び備品（純額）	1,787	1,647
土地	3,867	3,867
建設仮勘定	677	1,332
有形固定資産合計	25,498	25,355
無形固定資産		
仕掛研究開発	5,800	5,800
その他	941	1,662
無形固定資産合計	6,741	7,462
投資その他の資産		
投資有価証券	17,511	20,532
長期前払費用	1,012	4,991
繰延税金資産	3,873	2,590
退職給付に係る資産	1,190	3,102
その他	598	614
投資その他の資産合計	24,185	31,831
固定資産合計	56,425	64,648
資産合計	166,328	171,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,130	6,976
電子記録債務	89	123
短期借入金	3,850	3,850
未払金	5,824	4,146
未払費用	596	662
未払法人税等	2,004	76
賞与引当金	942	946
役員賞与引当金	23	31
その他	1,377	2,209
流動負債合計	20,838	19,024
固定負債		
株式給付引当金	117	137
退職給付に係る負債	6,349	6,393
繰延税金負債	1,771	1,947
その他	414	365
固定負債合計	8,653	8,843
負債合計	29,491	27,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,462
利益剰余金	126,135	128,506
自己株式	△30,026	△28,613
株主資本合計	131,368	135,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,724	7,184
退職給付に係る調整累計額	165	1,363
その他の包括利益累計額合計	4,889	8,547
非支配株主持分	578	—
純資産合計	136,836	143,755
負債純資産合計	166,328	171,623

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	72,984	72,044
売上原価	33,428	33,505
売上総利益	39,555	38,539
販売費及び一般管理費		
給料	5,605	5,657
賞与及び賞与引当金繰入額	1,222	1,160
役員賞与引当金繰入額	23	31
退職給付費用	341	272
研究開発費	15,789	12,543
減価償却費	291	317
その他	8,282	9,042
販売費及び一般管理費合計	31,556	29,025
営業利益	7,998	9,513
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	431	471
補助金収入	149	—
その他	191	64
営業外収益合計	780	543
営業外費用		
支払利息	17	17
為替差損	—	59
投資事業組合運用損	27	21
その他	6	7
営業外費用合計	51	106
経常利益	8,727	9,951
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	1	13
特別利益合計	4	14
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	48	148
減損損失	1,863	19
その他	—	0
特別損失合計	1,914	168
税金等調整前当期純利益	6,817	9,796
法人税、住民税及び事業税	3,998	1,926
法人税等調整額	△2,621	△155
法人税等合計	1,377	1,770
当期純利益	5,440	8,025
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	5,440	8,025

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	5,440	8,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	2,460
退職給付に係る調整額	△136	1,198
その他の包括利益合計	35	3,658
包括利益	5,475	11,684
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,475	11,684
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	23,853	11,406	126,347	△28,714	132,893	4,551	301	4,853	578	138,325
当期変動額										
剰余金の配当			△5,652		△5,652					△5,652
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,440		5,440					5,440
自己株式の取得				△1,340	△1,340					△1,340
自己株式の処分				27	27					27
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						172	△136	35	—	35
当期変動額合計	—	—	△211	△1,312	△1,524	172	△136	35	—	△1,489
当期末残高	23,853	11,406	126,135	△30,026	131,368	4,724	165	4,889	578	136,836

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	23,853	11,406	126,135	△30,026	131,368	4,724	165	4,889	578	136,836
当期変動額										
剰余金の配当			△5,655		△5,655					△5,655
親会社株主に帰属する 当期純利益			8,025		8,025					8,025
自己株式の取得				△2	△2					△2
自己株式の処分		55		1,415	1,470					1,470
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						2,460	1,198	3,658	△578	3,080
当期変動額合計	—	55	2,370	1,413	3,838	2,460	1,198	3,658	△578	6,918
当期末残高	23,853	11,462	128,506	△28,613	135,207	7,184	1,363	8,547	—	143,755

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,817	9,796
減価償却費	2,546	2,596
減損損失	1,863	19
のれん償却額	22	157
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△77	△141
受取利息及び受取配当金	△439	△479
支払利息	17	17
投資事業組合運用損益 (△は益)	27	21
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△13
有形固定資産除却損	48	148
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	972	△4,559
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△583	△1,603
仕入債務の増減額 (△は減少)	280	880
その他	1,746	△936
小計	13,240	5,903
利息及び配当金の受取額	439	479
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,409	△3,788
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,253	2,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,987	△1,861
有形固定資産の売却による収入	12	1
無形固定資産の取得による支出	△219	△306
投資有価証券の取得による支出	△200	—
投資有価証券の売却による収入	5	516
長期前払費用の取得による支出	△218	△4,182
その他	△18	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,627	△5,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,340	△0
配当金の支払額	△5,649	△5,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,990	△5,658
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△364	△8,935
現金及び現金同等物の期首残高	74,625	74,260
現金及び現金同等物の期末残高	74,260	65,325

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当連結会計期間において、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月7日付で自己株式を392,289株処分いたしました。この処分により、自己株式が1,387百万円減少し、資本剰余金が56百万円増加いたしました。

自己株式の処分は、2021年11月30日付で公表したARTham Therapeutics株式会社(以下、「アーサム株」という。)買収において締結した株式譲渡契約に基づき、難治性脈管奇形治療剤「KP-001(従来の開発コード:ART-001)」に関するマイルストーン達成の条件付対価として払込んだものであります。

なお、当連結会計期間末における自己株式は8,070,003株、28,613百万円、資本剰余金は11,462百万円となっております。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売並びに不動産賃貸の事業を営んでおり、業種別に事業に従事する経営スタイルを採用しております。また、各事業の運営は、事業ごとに主体的に行われ、包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業の運営を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「薬業」及び「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

「薬業」は、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売を主とし、「不動産事業」は、文京グリーンコート関連の不動産賃貸を主としております。

(2) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であります。

なお、共用資産については、各報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。

(3) 報告セグメントごとの売上高、利益、資産及びその他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注) 1	連結財務諸表 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	68,785	—	68,785	—	68,785
製品の販売等に関する ライセンス契約	1,776	—	1,776	—	1,776
顧客との契約から生じる 収益	70,562	—	70,562	—	70,562
その他の収益	—	2,422	2,422	—	2,422
外部顧客への売上高	70,562	2,422	72,984	—	72,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	70,562	2,422	72,984	—	72,984
セグメント利益	6,707	1,290	7,998	—	7,998
セグメント資産	74,223	10,090	84,314	82,013	166,328
その他の項目					
減価償却費 (注) 2	2,747	322	3,070	—	3,070
のれんの償却額	22	—	22	—	22
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額 (注) 2	2,770	19	2,789	—	2,789

- (注) 1. セグメント資産の調整額82,013百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円) (注) 1	連結財務諸表 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	67,958	—	67,958	—	67,958
製品の販売等に関する ライセンス契約	1,654	—	1,654	—	1,654
顧客との契約から生じる 収益	69,613	—	69,613	—	69,613
その他の収益	—	2,430	2,430	—	2,430
外部顧客への売上高	69,613	2,430	72,044	—	72,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	69,613	2,430	72,044	—	72,044
セグメント利益	8,140	1,373	9,513	—	9,513
セグメント資産	86,015	9,777	95,792	75,830	171,623
その他の項目					
減価償却費 (注) 2	2,853	321	3,174	—	3,174
のれんの償却額	157	—	157	—	157
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額 (注) 2	7,937	8	7,946	—	7,946

(注) 1. セグメント資産の調整額75,830百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

2. 関連情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	13,132	薬業
(株)メディセオ	10,420	薬業
(株)スズケン	10,349	薬業

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(1) 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

①売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

②有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

(3) 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高 (百万円)	関連するセグメント名
アルフレッサ(株)	13,313	薬業
(株)スズケン	10,234	薬業
(株)メディセオ	9,952	薬業

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
減損損失	1,863	—	1,863	—	—	1,863

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
減損損失	19	—	19	—	—	19

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
当期償却額	22	—	22	—	—	22
当期末残高	230	—	230	—	—	230

(注)「薬業」セグメントにおいて、のれんの減損損失 59百万円を計上しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	報告セグメント			その他 (百万円)	全社・消去 (百万円)	合計 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)			
当期償却額	157	—	157	—	—	157
当期末残高	937	—	937	—	—	937

(注) 「薬業」セグメントにおいて、2021年11月30日付で公表したアーサム(株)買収において締結した株式譲渡契約に基づき、2023年7月7日付で、難治性脈管奇形治療剤「KP-001(従来の開発コード：ART-001)」に関するマイルストーン達成による条件付対価を払い込んだことに伴い、のれんを追加的に計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当連結会計期間において、864百万円であります。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,636円17銭	3,796円05銭
1株当たり当期純利益	144円80銭	212円67銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しております。株主資本において自己株式として計上している信託が保有する当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度33,400株、当連結会計年度28,200株であり、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度35,021株、当連結会計年度29,898株であります。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,440	8,025
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,440	8,025
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,571	37,737

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	136,836	143,755
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	578	—
(うち非支配株主持分(百万円))	(578)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	136,258	143,755
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(千株)	37,472	37,869

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(役員の変動)

(1) 代表者の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動(2024年6月27日付 予定)

① 昇格予定

常務取締役	鈴木 雅	(現 取締役)
-------	------	---------

② 新任取締役候補

取締役	梅田 泰弘	(現 農林中央金庫特別参与)
-----	-------	----------------

社外取締役	石川 さと子	(現 慶應義塾大学薬学部薬学教育研究センター教授)
-------	--------	---------------------------

③ 退任予定取締役

取締役	太田 実	(経営顧問就任予定)
-----	------	------------

社外取締役	上別府 圭子	
-------	--------	--